

令和2年9月3日



埼玉県立草加かがやき特別支援学校 自立活動専任

夏休みが終わり、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。残暑がまだまだ厳しい中ですが、体調管理に気をつけながら前期の学習のまとめに取り組んでほしいと思います。前期の終わりには教育支援プランの評価を保護者の皆様にお渡しします。今年度は特に、新型コロナウイルスの影響で見通しのもちにくさや不安と向き合いながら、子どもたちが一生懸命取り組んだ様子が記載されています。学習の結果だけではなく、結果に至るまでの過程についても十分認めて褒め、子どもたちの後期以降の学習への意欲につなげていければと思います。

第5回は、「防災～災害時に備える～」について紹介させていただきます。毎年9月1日は防災の日で、今年は8月30日～9月5日が防災週間となっています。昨今、地震や大雨などによる被害が全国各地で起きています。改めて災害について認識を高め、災害への備えについて考える機会になればと思います。

①熊本地震がもたらした子どもと家族への影響

・避難所に入ることができなかった

菊池哲兵(2016)実践障害児教育9月号、学研。

避難者が多く、多数の人が押し寄せて混雑している避難所に入ることができなかつたり、そうした事態を懸念した家族が避難所に行くことを諦めたりしたケースがほとんどだった
→避難所に入ることができなかった多くの家族が車中泊を余儀なくされた

・食料が手に入りにくかった

どの避難所でも1、2時間は列に並ばなければならず、子どもが並ぶのは著しく困難であり、家族が代わりに並ぶとしても、その間誰が子どもを見守るかが問題となった

・家に入るのが難しかった

車中泊による生活がはじまってからおよそ1週間程度が経過し、自宅での生活を再開する人が増えてきた頃、「家に入るのが怖い」と訴えるケースが目立った

→父親や兄弟は自宅で眠る生活に戻ったが、子どもと母親だけが引き続き車中泊を続けるという例も多かった

・学校再開後(約1か月後)の子どもの心身の特徴

不安が身体症状化する例、地震を契機にして以前からあった問題が顕在化する例が多かった

②三つの「安」の確保の重要性

前川あさ美(2018)実践障害児教育9月号、学研。
LITALICO 発達ナビ <https://h-navi.jp/>

「安全」…「いのち」に最も直結するもの

危険を完全に、あるいは、できるだけ排除することで保障できる

災害前…家具を固定する、避難所までの道程を確認する、防災リュックに水や食料、薬を備えておく

※偏食がある場合、非常食が子どもの食べられるものかどうかを事前に試食して確認しておくことも考えられる

災害時…けがを見つけたら素早く対処する、適切な情報を得て危険から子どもを遠ざける



「安心」…直接「いのち」に直結しないように見えるが、自律神経を安定させ、精神的な健康を支える上で重要なもの

ほっとするような情報を受け取る、そばにいてもらう、話を聞いてもらう、どんな気持ちも受容してもらうといった関わりによって体験できる

→「一人になる」ことでほっとできることもある

災害前…何によって子どもの心が「安心」できるかを確認し、防災リュックにしのばせておく、災害が引き起こす心身の反応について事前に学んでおく

※安心できるお気に入りグッズやゲームなどを準備しておくことも考えられる



「安定」…普段の生活における習慣を取り戻したり、生活のリズムを回復させたり、見通しがもてたりすることで実現する

→「安定」の崩壊は、子どもの生活だけでなく「いのち」さえも脅かすことがある

災害前…災害時に起こりうる場面を想定した訓練(テントや寝袋で寝るなど)

災害後…可能などころから普段の習慣を回復させる、新しい日課をつくる



③主体的に自分を守るために災害前からできること

「主体的に自分を守る」というのは、自分一人で自分を守るということではなく、他者に「守られる」という体験も含まれている

・自分のことを知る

「できないこと」「苦手なこと」「嫌いなこと」だけでなく、「できること」「得意なこと」「好きなこと」など肯定的な側面も含めて子どもと対話しながら確認していく

・自分のことを知ってもらう

「自分のこと」を他者と共有する

→共に生きる他者と共有することで、防災力や減災力につながる

「自分のこと」をどのような人にどのように共有していくと「守られる」経験につながるのかを考える



④災害時に役立つツールの紹介

地震後のトラウマで家に帰ることができなくなった子どもたちに向けた絵本(熊本市子ども発達支援センター)



災害前に確認・準備しておくことで災害時に役立つ情報が分かりやすく説明されている

- ・「自閉症の人たちのための防災・支援ハンドブック」(社団法人日本自閉症協会)
- ・発達障害のある方の災害時マニュアル「災害と発達障がい」



災害時に必要な情報を入力することができる iPad のアプリ(一般社団法人福祉芸術支援協会)